

下痢傾向健常者に対するグアーガム分解物の有効性 ICoFF2019(第7回国際フードファクター会議、神戸)で発表

太陽化学株式会社(本社:三重県四日市市)、三重大学、京都府立大学、京都府立医科大学、東京医科大学は、2019年12月3日(火)神戸コンベンションセンターにて開催されるICoFF2019(第7回国際フードファクター会議、神戸)において下痢傾向健常者に対するグアーガム分解物の有効性について発表しました。

ポスター番号:PC1206

発表演題:「Partially Hydrolyzed Guar Gum on Fecal Characteristics and Gut Microbiota-A Randomised, Double-Blind, Placebo-Controlled, Parallel-Group Study」

Zenta Yasukawa(安川 然太)^{1, 2}, Ryo Inoue(井上 亮)³, Makoto Ozeki(小関 誠)^{1, 2}, Tsutomu Okubo(大久保 勉)^{1, 2}, Tomohisa Takagi(高木 智久)⁴, Akira Honda(本多 彰)⁵, Yuji Naito(内藤 裕二)⁴

¹太陽化学、²三重大学、³京都府立大学、⁴京都府立医科大学、⁵東京医科大学

日本人の腸内環境は変化してきており、下痢や軟便といった排便に関する問題を抱える若年者が増加していることが報告されています。水溶性食物繊維のグアーガム分解物であるサンファイバー®には腸内環境を整える作用が知られています。そこで、サンファイバー®が下痢を緩和することができるかについて研究を行いました。

下痢傾向のある健常者に1日5g、3ヶ月間サンファイバー®を摂取してもらい、便性状とQOL(生活の質)アンケート、採血、及び採便を行いました。その結果、サンファイバー®により便性状が改善し、QOLのうち対人関係と関わる社会生活機能が上昇しました。また、腸内細菌の*Bifidobacterium*属の増加など、9菌属の占有率が有意に変化しました。

以上から、サンファイバー®を摂取することで、下痢傾向健常者の腸内環境が改善し、そのことによって便性状も改善され、QOLが高まることが示唆されました。

<本件についてのお問い合わせ先>

太陽化学株式会社

〒105-0013 東京都港区浜松町1丁目6番3号

TEL:03-5470-6810 FAX:03-5470-6804

E-mail: support@taiyokagaku.co.jp